

去る令和元年10月19日～27日の一週間、私の住む浜松市では毎年恒例の「ハママツ・ジャズ・ウィーク」というイベントが盛大に行われていました。



[ハママツ・ジャズ・ウィーク2019](#)

このイベントは、音楽を中心とした都市づくりを推進する浜松市が、「まち中に音楽があり、音楽がまちを作り出す」というコンセプトで、世代を超えて楽しめる「ジャズ」をテーマとして官民一体として取り組んでいるもので、浜松市民だけでなく多くのファンに親しまれているものです。

期間中の最も大きい「目玉」は、最終日の27日に行われた「ヤマハ・ジャズ・フェスティバル」で、毎年そうそうたるアーティストが結集することで有名なのですが、今年はジャズピアニストの大御所ケニー・バロンが来浜し大きな話題となっていました。

その他にも、日本全国から選抜されたハイレベルな中・高生のビッグバンドが、その練習の成果を競う…ジャズの甲子園とも言える「スチューデント・ジャズ・フェスティバル」や、プロのミュージシャン達が市内の小中学校に出向きコンサートを行い、子供達にジャズの魅力を伝える「出前ジャズコンサート」などの企画が行われ、期間中浜松市は大いに沸いていました。



[ストリートジャズフェスティバル1](#)

それら盛り沢山の企画の中でも、私が毎年特に楽しみにしているのは、期間中の土日に浜松駅周辺のさまざまな場所の特設会場で行われている無料のライブ、「ストリートジャズフェスティバル」です。今年はキタラ(浜松駅北口広場)の会場で行われたビッグバンドのライブ取材を兼ねて聴きにいったのですが、写真の通り本当にたくさんの方が訪れて素晴らしいジャズのサウンドに酔いしれていました。



[ストリートジャズフェスティバル2](#)

やはり、ストリートライブの良いところは、たまたま通りかかった興味のない人もつい足を止め、演奏に自然と耳を傾げるところだと思います。

特に、ビッグバンドの演奏などは、ふだんテレビやラジオなどで耳にするものと実際の演奏の迫力は比べも

のにならず、今まで音楽に興味のなかった方でも一度聴いたら大概の方がファンになるのではないのでしょうか？

こういうイベントを、自分の住む街が積極的に行ってくれているということに誇りを感じますし、この期間を自分自身も毎年非常に楽しみに待っていますので、ここにこうしてご紹介させていただく次第です。来年の今ごろも、おそらく第29回の「ハママツ・ジャズ・ウィーク」が行われていると思いますので、その頃になったらたまたまこの記事を読んでくださったことを思い出して、浜松市に足を運んでいただければ幸いです。

浜松南部地区いきがい特派員 丸山敬